

特集 OEM・原料・容器各社の研究開発

斬新なアイデアで新たな需要を創造

新型コロナウイルスの感染拡大による影響で、化粧品OEM・原料・容器メーカー各社において

スピード感のある研究開発力の向上めざしR&D体制を強化

今回、取材企業の半数を超過する15社が登場した

スピード感のある研究開発力であり、各社ではこれを向上するために研究

「ウィズコロナ」「環境配慮」に対応する製品開発が活発化

化粧品OEMでは現在、ウィズコロナやアフターコロナを見据えた、

国内最大の日本コルマーでは、内需の減速や

化粧品OEMでは現在、ウィズコロナやアフターコロナを見据えた、

今春に中国・蘇州コルマー第二工場内に新研究

化粧品OEMでは現在、ウィズコロナやアフターコロナを見据えた、

「海外研究開発部」を新

化粧品OEMでは現在、ウィズコロナやアフターコロナを見据えた、

も強化され、今年に入り加熟発酵ニク粉末「Phagyo(ファジオ)」など独自原料を配

エア・ウォーターゾルでは、今年3月に茨城工

今後コラーゲンの研究を進めながら、生産技

一丸ファルコスでは、国際オーガニック認証を

三葉コーポレーションでは、使用する樹脂量を

このように、OEM・原料・容器メーカー各社

後、さらに活発化してい

きぞうだ。

きぞうだ。

# 特集 OEM・原料・容器各社の研究開発

## 日本コルマー

### 海外研究開発部、中国・新研究所などグローバル対応のR&D体制を強化

化粧品OEM/OEM国内最大手の日本コルマーは、国内5研究所のR&D体制を整う。海外では今春、中国・蘇州コルマー第二工場内に新研究所を設置し、2研究所体制でローカルニーズに対応した製品開発を推進する。研究開発本部の田中克昌取締役と小池高広執行役員に話を聞いた。

「グローバル化が進む中で、研究開発のあり方についてどう考えていますか。」

田中 「スピード感のある研究開発力」は今後さらに重視されると捉え、近年は特に強く意識して取り組んでいる。

新型コロナウイルスの感染拡大はその力が問われたように思う。衛生意識の向上やマスク着用の



田中氏



小池氏

行時(09年)に開発した

手指消毒クリームも一役買っている。消毒しながら保湿できる新指定医薬部外品対応のクリームで、殺菌持続効果が確認された実績品ということもあり、今回の特需にしっかりと対応することができたと思う。

今後の展望は。

田中 日本国内は人口減少にともなう内需の減速に加え、インバウンド消費も今後しばらくは期待できない状況にある。海外事業の成長拡大が不可欠である。



諸富氏

部」を新設した。中国・ASEANを中心に海外市場向けの製品開発を行う部署として、海外法規

制に沿った原料を用いて処方開発を進める。

研究開発では今後、どのような取り組みを強化していきますか。

諸富 2019年9月に本社研究施設が従来比で約7倍の500㎡に拡充した。

## ホシケミカルズ

### 天然精油を切り口にウィズコロナ時代のストレス社会に役立つアイテムを開発

ホシケミカルズでは、ウィズコロナ時代のストレス社会に役立つ「コロンナケアコスメ」を開発テーマに掲げ、天然精油を切り口に香りでのリラックス効果を訴求する各種アイテムの製品化を進めている。原料商社でありOEMも手がける同社でこれまで約20年にわたり、香りの分野の研究を専門的に行っている研究開発部の佐藤達也課長に話を聞いた。



佐藤氏

「最新の研究成果についてお聞かせください。」

佐藤 昨今は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、外出自粛やテレワークなど日々の生活スタイルが大きく変化している。今までも誰も体験したことのない出来事である中で、肌に対しても悪影響を及ぼしている。

最新の研究成果についてお聞かせください。

「お客様の抱える課題を解決する」という点では、多品種に対応する新工場の機能を活かしたと評価したい。

## 天真堂

### 有効成分を毛穴の奥まで届ける独自の毛穴浸透技術を開発

薬用化粧品・機能性表示食品OEM受託製造メーカーの天真堂は、有効成分を効果的に届ける独自の技術の開発に注力している。最新の研究成果について、OEM事業部研究開発部の諸富勝成部長に話を聞いた。

「最新の研究成果についてお聞かせください。」

諸富 2017年から「HFC(ヘア)

## 東洋ビューティ

### 「ODM専任」の研究員育成へ製品評価統括部を増床、連携強化

化粧品ODM/OEM業界の国内大手である東洋ビューティは、80期を迎えた今年5月に岩瀬史明新社長が就任し、新体制のもと企業理念を刷新を行い、新5カ年計画をスタートさせた。研究開発本部長の吉尾公男上席執行役員に話を聞いた。

「ODM比率向上への具体策は。」

吉尾 前5カ年ではこれまで積み上げてきた開発力、研究開発の効率向上を図ってきた。提供スピードも上がっている。



吉尾氏

「近年、「OEM」と「ODM」を使い分ける企業が増えています。貴社のODM戦略についてお聞かせください。」

吉尾 「ODM」の捉え方は各社様々だが、当社基準のOEMは2000年代前半頃DMの事例は、また全体にODMを意識し、ゼロの1割程度にとどまる。今期から新経営ビジョンから化粧品開発をスタートした。開始して15年「世界最良のODM企業

「ODM比率向上への具体策は。」

吉尾 前5カ年ではこれまで積み上げてきた開発力、研究開発の効率向上を図ってきた。提供スピードも上がっている。

「最新の研究成果についてお聞かせください。」

諸富 2017年から「HFC(ヘア)

## エア・ウォーター・ゾル

### 「新たな価値」の創造へ新研究所が始動、工場はコロナ特需に早期対応

エアゾール製造と化粧品OEM事業を展開するエア・ウォーター・ゾルは、ODM戦略として今年3月に茨城工場敷地内に新研究所「価値づくり研究所」を開所した。茨城工場は18年12月に化粧品を主とした第二工場を新設している。尾上英俊社長に話を聞いた。

「感染拡大の影響はいかがですか。」

尾上 新工場はエアゾール、危険物扱いの化粧品、非危険物の一般化粧品を製造する設備を整えており、手指用消毒アルコールの受注が伸びてい



尾上社長

「最新の研究成果についてお聞かせください。」

諸富 2019年9月に本社研究施設が従来比で約7倍の500㎡に拡充した。

「最新の研究成果についてお聞かせください。」

「お客様の抱える課題を解決する」という点では、多品種に対応する新工場の機能を活かしたと評価したい。

### ケミコスクリエイションズ

## 「世界で一步先を行く中身と容器」の 開発めざすアイライナーのバイオニア

アイライナーに特化したOEM事業を展開するケミコスクリエイションズは、アイライナーのバイオニアとして世界シェアNo.1の実績を誇る。同社の研究開発における取り組みについて、服部勝高会長に話を伺った。



服部 会長

「世界で一步先を行く中身と容器」の開発だ。当社では、アイライナー

研究開発で特に重視している点をお聞かせください。  
服部 アイライナーのはじまりは今から約40年前で、当時はノック式やダイヤル式といった強制的にインクを出すタイプが主流だった。  
私はこの時、「安くてもインクがなくなる最後まで自動的に描けるアイライナーを造れないものか」と考え、新たに筆ペン型リキッドアイライナーを開発し、アメリカで

大ヒットとなった。以来、品質の良いアイライナーさえ提供できれば、これだけに特化しても大丈夫だという自信がある。  
ただし、特化するといふことは競合他社が真似しうがちな圧倒的な技術を持ち、このカテゴリーで常に高い製品クオリティを追い求めている。アイライナーの開発で

### ポイントピュール

## 通販企業を中心に受注増 主軸の基礎化粧品に注目

沖縄・久米島のOEMメーカー、ポイントピュールは地域特性を活かした素材活用と、積極的な海外展開で業績を堅調に推移させている。直近の取り組みと、研究開発について大道敦代表取締役社長に話を伺った。



大道 社長

直近のOEM事業  
「直近のOEM事業についてお聞かせください。」  
大道 2月~4月にかけて、国内・海外ともに新型コロナウイルスの影響が見えはじめた。当社では通販企業からの受注が増加しており、9月頃まで工場はフル稼働で対応していく予定だ。外出自粛の中、スキンケアへの需要は引き続き高く、海洋深層水や沖縄素材を活用した当社の

基礎化粧品も引き合いが高まっている。また、ホテルアメニティのOEMも加速しており、提案を強化している。9001に関しては、大易生分解性のボタニカルシャンプーを開発するなどの増加に伴い、品質の安定化を図るべく、生産のマネージャル化を進めて

は現在、従来のような黒ロソを見据えたパール配や茶色だけでなく、30色の新たなアイライナーまでカラーバリエーションが広がっている。  
最新の研究成果は、マスクが今後のトレンドとなることを予測され、そうしたマスクとパールライナーを融合し、新しい器の開発に向けて、ウイズコロナ・アフターコ

アイライナーOEMに關しては、処方使い回しだと画一的で個性がなくなってしまう。そのため、中身と容器の開発を、一社ごとに要望に合った処方での個性のあるアイライナーを提供していく。

### 東洋新薬

## シワの医薬部外品に三相乳化を 掛け合わせた独自処方提案



高垣 副社長

化粧品と健康食品のOEM・ODMを展開している東洋新薬は、三相乳化技術を活用した独自の提案を進めている。最新状況について高垣欣也副社長に話を伺った。  
「現状についてお聞

に引き合いをいただいている。」  
高垣 神奈川県の特許技術「三相乳化法」の優しさを備えた幅広い用いた化粧品は、継続的

をとお聞かせください。  
大道 久米島海洋深層水や沖縄素材について、引き続き研究を進めている。また、コロナ禍で優秀な人材も集まりやすくなっている。また、ヒト幹細胞培養液への研究も継続して

### ナユタ

## さらなる主体的な提案に注力 厳しい環境下、アイデアで勝負



山崎 社長

OEMメーカーのナユタは、ウイズコロナの新たなニーズに合わせた提案に積極的だ。直近の研究開発での取り組みについて、山崎尋士代表取締役社長に話を伺った。  
「現在、研究開発で

同技術は、国内に加え海外のお客様からの反響もあり、昨秋にNYで開催された展覧会「インコ」でも、次年度に向けた新たな提案も進めている。このほか、コロナ禍に対応した衛生商品に関する提案を行っている。一方、昨年のサイトシ

品では、強みの三相乳化との組み合わせにより独自の打ち出した。これまでに多くの受注をいただいている。次年度に向けた新たな提案も進めている。このほか、コロナ禍に対応した衛生商品に関する提案を行っている。一方、昨年のサイトシ

### 太陽化学

## 新型肺炎対応の洗浄剤として 強みの界面活性剤提案進める



川浪 氏

太陽化学は、1952年に日本で初めて食品用乳化剤を開発し、食品分野で界面制御技術を開発してきた。同技術を応用し、現在は化粧品や日用品分野にも提案の幅を広げている。現状や最新技術について、カスターマーサービスセンター第3部グループリーダーの川浪博司氏に話を伺った。  
「現状を伺います。」  
川浪 経済産業省が5月28日に発表した「洗剤に含まれる界面活性剤で、新型コロナウイルスが効果的に除去できる」とい

注が落ち込んだ。しかし、新しい取り組みを始めるチャンスとして前向きに捉えている。また、幸い6月以降はある程度受注が戻ってきている。  
「サンソフトM-12J」は、一般的な非イオン界面活性剤で課題となる洗浄力や起泡力にすぐれるほか、低刺激で、高い保湿感と付与できる点が特長といえる。  
さらに、処方によって、単体で高い抗菌効果を発揮することが示唆されており、インフルエンザウイルスに対する不活化作用も確認されている。「サンソフトQ-8H」を併用した処方となっており、高いクレンジ

今後のさらなるスピード感を感じたモノづくりを注力したい。ニーズに合わせた製品開発はもうひとつの競争力を出して、今後の競争力を高める。また、当社の得意とする「サンソフトQ-8H」を併用した処方となっており、高いクレンジング力を持つ洗剤の設計となっている。  
「3月以降の業績は、いかがでしょうか。」  
山崎 新型コロナウイルスの影響で、5月は一時的に受注が減少している。技術でどれだけ新しい提案を出せるかが鍵になる。提案も強化している。

## 特集 OEM・原料・容器各社の研究開発

「サンソフトM-12J」は、一般的な非イオン界面活性剤で課題となる洗浄力や起泡力にすぐれるほか、低刺激で、高い保湿感と付与できる点が特長といえる。  
さらに、処方によって、単体で高い抗菌効果を発揮することが示唆されており、インフルエンザウイルスに対する不活化作用も確認されている。「サンソフトQ-8H」を併用した処方となっており、高いクレンジング力を持つ洗剤の設計となっている。  
「3月以降の業績は、いかがでしょうか。」  
山崎 新型コロナウイルスの影響で、5月は一時的に受注が減少している。技術でどれだけ新しい提案を出せるかが鍵になる。提案も強化している。

# 特集 OEM・原料・容器各社の研究開発

## ケイブス

### 「化粧品コンシエルジュ」として顧客のニーズを先読みした製品提案に注力

化粧品容器の卸販売と化粧品の研究開発・製造を手がけるケイブスは、容器とOEMに精通した化粧品コンシエルジュを目指し、顧客のニーズを先読みした製品の提案に注力している。現在進めている取り組みや今後の研究開発について、角嶋一幸社長に話を伺った。

現在、注力している取り組みをお聞かせください。

角嶋 同業他社との競争ではなく、あくまでも化粧品コンシエルジュとして、お客様から「何か、目新しい情報を提供できればケイブスに相談しよう」と思われるような便利さ、お客様のニーズを先読みする努力を怠りません。また、お客様から「何か、目新しい情報を提供できればケイブスに相談しよう」と思われるような便利さ、お客様のニーズを先読みする努力を怠りません。



角嶋 社長  
角嶋 一幸

目新しい情報の提供に向けて、当社では昨年5月に「製品設計課」を新設し、容器・OEMの両面で情報収集を行い、化粧品が出来上がるまでの全ての基本的なプロセスの情報を技術のデータベース化を進めている。さらに、今年には「統括本部」を新設し、品質保証や生産管理などのモノづくりに関する部署だけ

## 近代化学

### 時代のニーズに応じた高付加価値へアケア製品の研究開発を推進

へアケア専門OEMの近代化学では、自然由来指数100%のシャンプー・トリートメントをはじめ、アルコールベースで除菌効果が期待できる水の要らないシャンプーなど、時代のニーズに応じた高付加価値へアケア製品の開発を進めている。岡部達彦社長に研究開発の最新成果を聞いた。

研究開発の最新成果についてお聞かせください。



岡部 社長  
岡部 達彦

今夏からのOEMとごまっていたが、この度、自然由来指数100%の提案を目指している。当社ではこれまで、シャンプーとトリートメントの製造において機能性やコスト的な面から、自然由来指数が80~90%の

新しい情報提供に向けて、当社では昨年5月に「製品設計課」を新設し、容器・OEMの両面で情報収集を行い、化粧品が出来上がるまでの全ての基本的なプロセスの情報を技術のデータベース化を進めている。さらに、今年には「統括本部」を新設し、品質保証や生産管理などのモノづくりに関する部署だけ

苦境に立たされている美容店を支援する一環として、実際に自身が美容室を訪れ、「美容室、来客を呼び込みたい」という声に共感し、SNSを通じて広く発信している。

今後、ウイズコロナの上を意識的に取り組んで生活がより定着していけるかなければいけない。来期以降については不確定要素も多いが、今期は微増収で着地するとみている。



阪本 社長  
阪本 健二

E.M. ODMメーカーとして、このタイミングで申請に踏み切った。沖繩・今帰仁村で実施しているサトウキビ葉エキス試験栽培は約300kgを収穫し、乾燥若葉の成分解析を進めている。フェルラ酸のほかにも、珍しい抗酸化成分が見つかっており、健康食品分野への応用について研究を進めている。

## ミリオナ化粧品

### コスモス認証取得へ処方開発に注力 サトウキビ葉エキスの成分解析も着々

ミリオナ化粧品は、各種認証に対応した処方開発や、オリジナル原料の開発など、引き続き精力的な研究開発に取り組んでいる。直近の取り組みと、事業展開について阪本雅哉代表取締役に話を伺った。

今後、ウイズコロナの上を意識的に取り組んで生活がより定着していけるかなければいけない。来期以降については不確定要素も多いが、今期は微増収で着地するとみている。

## サテイス製薬

### バリア機能や保湿機能を改善する 世界初の植物ヒト型セラミド提案

国産植物を使ったOEM事業を行うサテイス製薬は、2016年に開発した世界初の「植物ヒト型セラミド」について、人間が持つ保湿因子の産生性を高める機能を新たに発見し、今年4月には製造技術で特許を取得した。代表取締役社長の山崎智士氏に話を伺った。



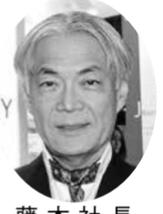
山崎 社長  
山崎 智士

現在、多くのお問い合わせをいただいております。国内のほか、海外へも積極的に関心を持っていただいております。国内のほか、海外へも積極的に関心を持っていただいております。

## コスメテックジャパン

### グローバル・シームレスを見据え、分野の垣根を越えた事業を展望

桃谷順天館グループの化粧品/健康食品のOEM・ODMメーカー、コスメテックジャパンは研究開発力と企画提案力を武器に、独自の事業を展開している。今年度の取り組みについて、代表取締役社長兼CEOの藤本謙介氏に話を伺った。



藤本 社長  
藤本 謙介

今年度ほどのような施策を展開していくの難しい。国内の少子高齢化が進行する中、グローバルに目を向けなければいけない。国内の少子高齢化が進行する中、グローバルに目を向けなければいけない。

### アリエミロット 紙由来容器やコロナ対応商品等 「新たな生活様式」へ提案推進

アリエ・ミロットグループは、大学や異業種との積極的なコラボレーションにより、新たな生活様式に合わせた独自の開発・提案を進めている。注力施策や今後の展望について、石橋奈央子社長に話を伺った。

20年上期の市場は  
いかがでしょうか。



石橋 社長

石橋 新型コロナウイルスの影響で、化粧品へのニーズが減少しており、特にメイクアップの売上が落ち込んでいる。化粧品消費行動はコロナ収束後に大きく変化することが考えられるため、新たな生活ニーズを迅速に捉えた提案を行う必要がある。

最新の開発成果について伺います。  
石橋 with コロナ 案し、好評を得ている。

### 一丸ファルコス

### サステナブルな機能性原料を充実化 研究資産を活かし「新奇性」追求

化粧品・医薬部外品の原料メーカーである一丸ファルコスは、最近4年間で国際的な原料展示会にて賞を立て続けに受賞し、国際的な評価も高まっている。開発部の田中清隆次長に話を聞いた。

研究開発の方向性について伺います。



田中 氏

田中 単に機能性が高いだけでなく、差別化が難しくなり、付加価値を意識した開発を推進している。植物由来を主とした原料開発を強みに、サステナブルな活動にも早い段階から取り組んできたが、近年の環境をめぐる社会意識の高まりも影響

付加価値として関心を持っていただく機会が

いたないと考えている。このほか、ニーズが高まるアルコール消毒液は、年内を目途に増産体制を整えるなど、新たな消費者ニーズに対応できる体制構築を推進していく。

今後の展望は。

石橋 当社が掲げる「オンリーワン」の開発・提案体制として、オリジナルな原料に加え、効果や感触、使用感など多方面での独自性や新規性を追求していく。

このため当社では、産学連携はじめ、異業種と

### 阪本薬品工業

### 保湿剤(グリセリン・ジグリセリン)の 分子レベルでの角層構造への影響で新発見

天然グリセリンの国内トップメーカーとして知られる阪本薬品工業は、肌の保湿で重要な皮膚角層の機構解明に取り組んでいる。

汎用の保湿剤であるグリセリンとジグリセリンを組み合わせた化粧水を塗

姿勢は今後も大切にして  
いきたいと思う。

新規開発原料の品  
目数では業界トップクラ  
スといえます。

田中 毎年新製品を発売するべく、開発部全体で多くのテーマを進めている。新規原料の開発では、これまで積み上げてきた研究資産の価値も大きいと感じている。

一方、原料開発メーカーとして「今までにないものを生み出す」をテーマにしたチャレンジングな開発には特に力を入れている。外原規に未登録の素材でも、新奇性が感じられれば、迷わず開発を進める。今の時流には合っていないかもしれないが、9年以上になる。また国際オーガニック認証を取り

お金をかけるものこそ、嗜好品である化粧品



研究所外観

の影響を詳細に解析したところ、細胞間脂質の構造は乾燥環境下において規則性を保つことで水を保持しようとするが、過度の乾燥において

乱プロファイルに対して解析を行い、保湿剤の分子レベルでの角層構造への影響に関する情報を得ることに成功した。

角層中の水分の大部分が蓄えられている角層細胞では、角層の乾燥処理により角層細胞中のセラチンタンパクの構造が収縮し、水が失われることを確認した。さらに、細胞間脂質のラメラ構造へ

発にも成功した。また、研究員が既存の評価機器のポテンシャルを生かした新たな評価

### 三菱コーポレーション

### 上質でエコな超極薄コンパクトを 開発、節約志向などにも対応

三菱コーポレーションは、愛知県内に化粧品容器の製造工場を持ち、コンパクトやボトル容器などの企画開発・製造を行っている。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外出自粛や在宅勤務などの広がりでメイクアップの使用率が低下が懸念される中、伊藤博行社長は「新たなニーズに対応しながら、高級志向を今後も貫いていく」と前を向く。

貴社の製品開発の方向性について伺います。



伊藤 社長

伊藤 コロナ不況を迎える中で、消費行動の変化を注視し、今後の開発提案に活かしていく。

このような局面となり、さらに進むのではないかと

### トヨー工業工業 業界初、チューブ用のノズル付 ワンタッチキャップを開発

チューブ容器・キャップ専門メーカーのトヨー工業は、このほど、業界初となるノズルチューブ用のワンタッチキャップ「TWBノズル20」(特許出願中)を開発した。倉茂朋之社長に開発秘話を語ってもらった。

今までの形状



倉茂 社長

今回開発したチューブワンタッチノズルキャップ「TWBノズル20」は、吐出口に高さをもたせたことで、少量使いにも適している。また、高級感を出すために、チューブとの一体感のあるデザインにもこだわった。当社の開発技術力のアピールにもつながると考えている。

今でこそ、化粧品のチューブ容器メーカーとして認知されているが、1968年の創業時からキャップメーカーとして食品大手の食用油や醤油などのキャップを製造して

7月にはアルコール消費用のキャップの製造技術・ノウハウを蓄積してきた。

また、これまでノズル付きのチューブでは使用できなかった、逆止弁を使用することができ、成分など内容物の酸化を防ぐことも可能なので、シミ対策の美容液やシワ改善クリームなどに使用する部位に使用するスペシャルケア用途での提案を進めていく。



## 特集 OEM・原料・容器各社の研究開発